

語感をみがこう

見でくらすべで

オノマトペ!

にがにがくすくす  
気持ちのことは

監修 小野正弘

明治大学文学部教授

るんるん



きょとん



むずっ

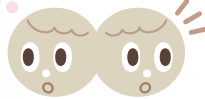


あっけらんか

くすくす



めそめそ



べそべそ



# 「オノマトペ」ってなに？

## 「感じ」をもっと伝える言葉

「オノマトペ」とは、ドアをたたく音「コンコン」やネコの鳴き声「ニャー」のような、ものの音や動物の鳴き声を人間の声であらわした言葉（擬音語または擬声語）と、よどみなくしゃべるようす「ぺらぺら」やひどくおどろいた感じ「ぎよっ」のような、ものようすや人の気持ちちを、音そのものもつ感じによってあらわした言葉（擬態語）のふたつをあわせた言葉です。

オノマトペを使うと、表現がとても生き生きとしたものになります。たとえば、試合のようすを書いた作文で「勝利が近づいてきたと感じた」というところを、「勝利がぐつと近づいてきたと感じた」としたらどうでしょう。「ぐつ」というオノマトペがあることで、その場にいるような臨場感が伝わります。さらに「勝利をぐつと引き寄せた感じがした」だと、あなたの実感がさらに伝わって、読む方も思わず引きこまれることでしょう。

こんなふうには、オノマトペには、表現を生き生きとさせ、人の心を「ぐつ」とわしづかみにしてしまう魅力があります。オノマトペは、気づいてみるとわたしたちの周囲に満ち満ちています。このオノマトペについて、ときに立ち止まって、その言葉のもつくわしい意味を考えたり、ちょっと音を変えてくらべてみたり（たとえば、「ぎよっ」と「げっ」では、印象はどのようにちがうでしょうか？）、似た意味のものを並べてちがいを考えたりすれば、オノマトペに対する感覚だけでなく、広く言葉に対する感覚をみがいていくことができるでしょう。

監修 小野正弘（明治大学文学部教授）



### もくじ

さがしてみよう！ 身近にある オノマトペ……………	4
<b>笑う</b> にやにや…………… くすくす…………… がはは……………	6 7 8
<b>泣く</b> おいおい…………… うるうる…………… めそめそ…………… しくしく……………	9 10 11 12
<b>おこる</b> ぶりぶり…………… むすっ…………… むかつ…………… がみがみ……………	13 14 15 16
くらべてみると① よりおこっているのは、 どっち？……………	17
<b>喜ぶ</b> るんるん…………… いそいそ…………… ほくほく……………	18 19 20
くらべてみると② よりおどろいているのは、 どっち？……………	21
<b>おどろく</b> びくっ…………… がーん…………… きよとん……………	21 22 23
くらべてみると③ より落ちこんでいるのは、 どっち？……………	24
<b>ためらう</b> いじいじ…………… おずおず……………	25 26
<b>思う・感じる</b> うつとり…………… しんみり…………… きゅん…………… むくむく……………	27 28 29 30
<b>元気がない・悲しむ</b> がつかり…………… うんざり…………… す（す）……………	31 32 33
くらべてみると④ より落ちこんでいるのは、 どっち？……………	34
<b>心が痛む</b> ちくん…………… ぐさつ……………	35 36
<b>平気・平然</b> あつけらん…………… けろり…………… ちやつかり…………… のほほん……………	37 38 39 40
<b>あわてる・おちつかない</b> あたふた…………… やきもき…………… うずうず……………	41 42 43
<b>もっと知りたい！ 海の向こうの オノマトペ……………</b>	44
さくいん……………	46

### マークの説明

**使ってみよう**

そのオノマトペを使った作文や、会話の例を紹介しています。

**ここにあるよ！**

文学作品の中で、そのオノマトペが使われている部分をぬき出して紹介しています。

**こうしてできた！**

そのオノマトペが生まれた背景、成り立ちを説明しています。



さがしてみよう！

# 身近にあるオノマトペ

気持ちやようすをあらわす「オノマトペ」。じつは、とても身近な言葉です。ほら、こんな言葉、こんな場面、みなさんもふだん、であっていませんか？

「笑う」オノマトペは……6ページ

「おこる」オノマトペは……13ページ

「元気がない・悲しむ」オノマトペは……31ページ

「喜ぶ」オノマトペは……18ページ

「おどろく」オノマトペは……21ページ

「平気・平然」オノマトペは……37ページ

「真夜中の学校のトイレにさあ……」  
「ぞつ」オノマトペは……27ページ

「心が痛む」オノマトペは……35ページ

「あわてる・おちつかない」オノマトペは……41ページ

「ためらう」オノマトペは……25ページ

「泣く」オノマトペは……9ページ

「わんわん」

こんなふうに、わたしたちのくらしはオノマトペであふれています。次のページから、この他にもたくさん紹介していくので、作文や日記で使ってみましょう！



# にやにや



意味

声を立てないで、表情だけで笑い続けるようす。冷たい感じや、特別な意味がある感じで、うすすらと顔に笑いをうかべるようす。

ここにありよ!

すると、そのとき、むこうの方がぼうつと明るくなって、ちんどん屋のすがたがあらわれました。大きなまっかな口で、にやにやわらっています。

「さあ、これから、おもしろいものを見せてやるよ、えへへ」  
「まほうやしき」江戸川乱歩  
※ちんどん屋：はでな服で楽器を鳴らしながら町中を歩き、宣伝をする人。

## 似た意味のオノマトペ

不気味さがより強いのは……

意味

# にたにた

何かよくないことを考えているような感じで、声を立てずに、うす気味悪く笑い続けるようす。

使ってみよう

くらやみで、おそろしい怪物が一人にたにたと笑う場面に、ぼくはぞっとして、思わずつばをのみこんだ。



# くすくす



意味

ちよつとおかしいと感じられ、他の人に聞かれないように小さく笑い続けるときの声。また、そのときのようなようす。

使ってみよう

おじいちゃんが、「DVD」のことを「デーブイデー」と言うので、わたしたちは思わずくすくす笑ってしまった。



## 似た意味のオノマトペ

おさえきれずに、声が出てしまうときは……

意味

# くっくっ

おもしろいと思う気持ちをおさえようとしてもおさえきれないで、のどからもらす小さな笑い声。

使ってみよう

ぼくは卓也君が言っていたギャグがいつまでも頭からはなれなくて、授業が始まって、がまんできずにくっくつと笑っていた。





# めそめそ

泣く

似た意味のオノマトペ

よりみじめな  
感じにするなら……

## ベそベそ

意味

気にいらなことがあって、あまえたり、すねたりしながら泣くようす。

使ってみよう

妹が、いつまでもベそベそと泣くので、ぼくもお母さんもこまってしまった。



「私の父と母」有島武郎

「ここに」  
母からは学校から帰ると論語とか孝経とかを読ませられたのである。一意意味もわからず、素読するのであるが、よく母から鋭く叱られてめそめそ泣いたことを記憶している。



ここに

意味

悲しい気持ちになって、声を立てずに、みじめに泣くようす。気が弱くて、何かというときに、泣いたり悲しんだりするようす。

# うるうる

泣く



似た意味のオノマトペ

鼻を鳴らす音をプラスして……

## ぐっすん

意味

なみだ声になり、鼻水をすすりあげて鳴らす音。また、そのときのようす。

使ってみよう

「直樹君、元気でね」  
わたしがそう言うと、直樹君は後ろを向き、ぐっすんと鼻を鳴らした。



使ってみよう

オーケストラの演奏は、とてもすばらしかった。ふと横を見ると、母が目をうるうるさせながら拍手をしていた。



意味

水気がたくさんあるようすや、つやがあるようす。とくに、目になみだをいっぱいためているようす。

# がみがみ



くらべてみると①

よりおこっているのは、どっち??



### 似た意味のオノマトペ

意地悪くおこるときは……

## とげとげ

**意味** 相手をきつく責めるようなすどい目つきや口調で、意地悪そうにしかったり文句を言ったりするようす。

### 使ってみよう

今日のお姉ちゃんはようすがおかしい。  
 冷蔵庫の閉め方がいつも以上に乱暴だし、話し方もとげとげしている。こんなときは、近づかないのが一番だ。



ここにありよ!

「甲斐子は二階から降りて来るとつゆをがみがみ叱り始めた。「心配をするじゃありませんかッ! いまごろまで何処を歩いていたんです、いい年をして……」

「玄関の手帖」林美美子

**意味** 聞いている方がぺちゃんこになるくらい、口やかましく、強い調子でしかりつけたり、文句を言ったりするようす。

おこっているようすをあらわす「ぷりぷり(13ページ)」と似た意味のオノマトペには、「つんつん」もあります。この「ぷりぷり」と「つんつん」、どちらの方がよりおこっているのでしょうか? 同じ状況設定で、くらべてみましょう。

たとえば、あなたが友人A君のサッカーの試合を見に行くという約束をすっかり忘れて、すっぱかしてしまいました。次の日の朝、あなたが教室に入ると顔を真っ赤にしたA君がやってきて「昨日の試合、なんで来てくれなかったんだよ!」と、ぷりぷりしています。

では、これが「つんつん」だと、どうなるでしょうか。

あなたが教室に入ると、なんとなくきげんが悪そうなA君がいます。「A君、おはよう」「……」「漢字テストの勉強してきた?」「……まあ」「何か、いやなことでもあった? おこってるの?」「いや別に……」「あなたが何を言っても、A君はつんつんしています。

このように、「ぷりぷり」は相手に文句を言ったり、ふくれっ面をしたり、はつきりと「自分がおこっている」ことを相手に示すときに使われます。それに対して「つんつん」は、相手が何をしても反応がうすく、冷たい態度をとり続けるようなときに使われます。

こうして考えてみると、**気持ちを伝えてくれている「ぷりぷり」よりも、無視するような冷たい態度の「つんつん」の方が、心の中では激しくおこっている**と言えそうです。

ついまわりの人を「ぷりぷり」させてしまうあなた、いつしかそれが「つんつん」に変わってしまわないように、気をつけましょう。